

法学委員会・心理学・教育学委員会合同

法と心理学分科会

第6回会議議事録

■ 日時 2025 年 9 月 6 日(土) 15 時 00 分～ 18 時 00 分

■ 方法 ウェブ会議

■ 参加者(五十音順、敬称略)

大江美佐里(久留米大学、精神医学)、笠井修(中央大学、民法)、金澤真理(大阪公立大学、刑法・刑事政策)、唐沢かおり(東京大学、心理学)、川嶋四郎(同志社大学、民事訴訟法)、行場次朗(東北大学名誉教授、心理学)、笹倉香奈(甲南大学、刑事訴訟法)、土井政和(九州大学名誉教授、刑事政策)、豊崎七絵(九州大学、刑事訴訟法)、仲真紀子(理化学研究所、心理学)、西希代子(慶応義塾大学、民法)、平山真理(白鷗大学、刑事訴訟法・刑事政策)

■ 欠席者

松宮孝明(立命館大学、刑法)

■ 議事概要

1. 開会、前回議事録の確認

笠井より冒頭のあいさつと本日の進行内容について説明があった。

前回議事録の確認が行われ、異議なく承認された。

2. 研究報告ならびに質疑

- ・ 大江美佐里氏(久留米大学保健管理センター准教授)「性暴力被害におけるジェンダーバイアス: 司法関係者・一般市民の心理的側面に焦点をあてた論考」
- ・ 笹倉香奈氏(甲南大学法学部教授)「誤判・えん罪事件とバイアス——アメリカの議論を参考に」

大江美佐里氏、笹倉香奈氏により、上記のテーマで研究報告が行われ、それぞれ意見を交換した。

3. 今後の研究の進め方について

- ・ 来年 9 月に日本心理学会との共催によるシンポジウムの開催を目指すこととし、同学会と協議・協力しながら準備を進める。
- ・ 次回は 2025 年 11 月 22 日(土)15 時より開催することとし、川嶋四郎氏、豊崎七絵氏による研究報告および質疑を行う。

以上